

令和元年度 行政改革・事務改善事項

1 市民の視点に立った協働の「まちづくり」の推進

実施項目	取組事項	取組内容
(1) 市民や地位との協働の推進	(新規) 高齢者学級委託実施の希望制 【提案型事業評価】	【生涯学習・スポーツ課】 地区の負担が大きく、継続困難という声が聞かれたため、令和元年度から希望制とし、希望のあった16地区から開設申請が提出され、委託した。
(2) まちづくりの担い手の育成と連携の推進	女性防災士育成支援 (継続)	【総務課】 災害時における女性に配慮した避難所運営や日頃から女性の視点による防災意識の啓発が図れるよう、引き続き、女性防災士の資格取得を支援するため、6月に欠員地区に女性防災士の推薦を依頼した。 また、砺波市防災士連絡協議会と連携して、女性防災士を対象とした勉強会を5月と7月に開催し、35名が参加した。
(3) 情報の積極的な提供と共有化の推進	情報発信（シティプロモーション）強化事業 (継続)	【企画調整課】 本市の魅力を発信するTEAM1073のメンバーが撮影した写真を市職員の名刺デザインとして活用し、更にこのデザインを市民団体等一般に広く提供することで、市民と連携してシティプロモーションの推進を図っている。
	情報発信（第2弾先駆的シティプロモーション）強化事業 (継続)	【企画調整課】 ドローンや360度カメラ（動画4K）を使って市の風景や空き家内部など撮り蓄えたことから、この映像を編集して、新しい視点の映像表現による魅力発信を図り、本市のさらなるイメージアップに努めている。

2 時代の変化に対応した効果的で質の高い「行政サービス」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 人材の育成と組織機構の最適化	(新規) 社会教育指導員削減による人件費の削減	【生涯学習・スポーツ課】 花と緑と文化の財団事務局へ派遣していた社会教育指導員の業務を財団職員が兼ねて行うことで効率的に事務が進められることから、社会教育指導員を2名から1名に変更した。 (平成31年4月から) 人件費削減見込額 1,094千円

実施項目	取組事項	取組内容
	(新規) 社会体育指導員削減による人件費の削減	【生涯学習・スポーツ課】 庄川体育センターでスポーツ指導を嘱託していた砺波市社会体育指導員の業務を(公財)砺波市体育協会の職員が施設管理と兼ねて行うことで効率的に事務が進められるように変更した。 (平成31年4月から) 人件費削減見込額 2,088千円
(2) 事務事業の効率化・適正化	(新規) コンビニ収納導入に向けたシステム改修等	【税務課】 令和2年4月から導入予定のコンビニ収納に向け、収納システム(civion)及び滞納管理システムの改修を行っており、連携テストに向けて準備している。 【上下水道課】 更なる利用者サービスの向上と収納率アップに向け、税務課と連携しながら、コンビニ収納に対応できるシステムの構築に取り組んでいる。
	地方税共通納税システムの導入 (継続)	【税務課】 令和元年10月から導入のシステムで、法人が複数の市町村に法人市民税・市県民税の特別徴収分を一括で納付できるもの。消し込み作業の簡素化や納付済通知書の削減(会計課の日計作業の削減)を図るもの。
	家屋評価事務要領の作成 (継続)	【税務課】 令和3年度評価替えに向け「砺波市 家屋評価事務要領」を平成30～令和2年度の3カ年で作成している。家屋評価に対するマニュアルとなるものであり、担当が異動となった場合でも速やかに評価事務を行うことができる。
	(新規) ヘルパーステーションの再編	【高齢介護課】 これまでの3ステーション(市役所・庄東・庄川)を2ステーション(市役所・庄川)に再編することで、職員を集約することができ、突発的な事案の対応や休暇の取得が可能となり、職員の定着につながる。 (平成31年4月から実施)
	(新規) ホームヘルパーの「直行」及び「直帰」方式の取入れ	【高齢介護課】 「自宅→利用者→ステーション(直行)」及び「ステーション→利用者→自宅(直帰)」方式を取り入れることで、移動距離・時間を短縮することができ、ヘルパーの活動時間数を確保することができる。 (平成31年4月から実施)

実施項目	取組事項	取組状況
	(新規) 高齢者運転免許自主返納 支援事業の推進	【生活環境課】 運転免許を自主返納した高齢ドライバーに対して、従来2万円相当の公共交通機関利用券を希望する交通機関に限って交付していたところ、これを複数の交通機関で使用できる共通支援券に変更し、新たに交付することとした。 また、費用負担についても申請時の一括交付による全額負担から、実績に応じた精算払いに変更することとした。 (平成31年4月から実施) 令和元年8月22日現在申請者数 101名
(2) 事務事業の効率化・ 適正化	(新規) 相談窓口の一元化	【農業振興課】 農地調整係所管の「利用権設定等促進事業」と、農産係所管の「農地中間管理事業」の業務について、事業毎に担当係が異なっていたが、農地調整係に相談窓口を一元化した。 (平成31年4月から実施)
	(新規) 瓜裂清水の管理に関する 業務の集約	【地域振興課】 瓜裂清水の駐車場管理(商工観光課)、休憩所管理(生涯学習・スポーツ課)、駐車場公衆トイレ管理(地域振興課)について、それぞれ管理していた業務を地域振興課に集約した。 (平成31年4月から実施) (文化財指定関係、水質検査は現行どおり)
	(新規) 成人式記念品の廃止 【提案型事業評価】	【生涯学習・スポーツ課】 成人式の記念品としてとなみブランド認定品のうち「越中三助焼」「庄川挽物木地」を隔年で選定して、成人式において贈呈していたが、不要との成人者の声があり、他市でも廃止や写真等に見直しされ、記念品の効果が見込めないため、これを廃止するもの。 (令和2年1月の成人式より廃止)
	(新規) となみ野美術展の開催方 法及び賞の見直し 【提案型事業評価】	【生涯学習・スポーツ課】 ワーキング・グループでの議論をもとに、開催方法の見直しについて実行委員会で検討し、今年度からトリエンナーレとして実施した。 (見直し事項) ・トリエンナーレ(3年に1回の開催) ・大賞150万円(作品買上げ)⇒100万円 (作品買上無し) ・部門賞(6部門)及び新人賞の創設(各5万円)

3 健全で持続可能な「財政運営」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 健全な財政運営の 推進	(新規) 補助金の適正化	【財政課】 財政状況が今後一層厳しさを増すことが見込まれることから、行政改革庁内会議の専門部会を設け、補助金等の実態を調査し、補助金等交付基準(案)の策定作業を進めている。

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 健全な財政運営の 推進	(新規) 観光イベントの見直し	【商工観光課】 平成30年度までに37回実施した「庄川木工まつり」について、組織改編やイベントの目的等について協議を行い、令和元年度より実施しないこととした。
	(新規) 各種補助金の見直しによる削減	【財政課、各課】 各種補助金等については、順次見直しを行い、削減を図っている。 令和元年度 削減額 1,787千円 <u>(1) 団体補助金の見直し 1,437千円</u> <u>(2) 運営補助金の見直し 350千円</u>
(2) 公共施設等のマネ ジメントの推進	未利用地等の有効活用 (継続)	【財政課】 未利用の市有地等について、売却処分等の有効活用を引き続き推進している。
	児童センター・児童館のあり方 (継続)	【こども課】 老朽化した児童館のあり方及び他施設での事業の実施について、引き続き、地元自治振興会等と協議を行っている。
	(新規) 旧東野尻幼稚園のプール 解体工事及び遊具撤去工 事	【こども課】 旧東野尻幼稚園に設置しているプールの解体工事と遊具の撤去工事を行った。
(3) 自主財源の確保と 創出	(新規) 窓口封筒作成を無償に 創出	【市民課】 窓口に設置している証明書持ち帰り用封筒を、広告掲載とし、封筒の作成費を削減する。 協賛広告主によって作成された封筒を窓口に置き、証明書等の持ち帰り用に使用してもらうもの。 広告主の募集、封筒作成はすべて制作会社に委任し、市は作成された封筒の提供を受ける。封筒の印刷製本費の削減ができる。 予算削減見込額 100千円
	マイクロ水力発電による 売電収入 (継続)	【上下水道課】 上中野配水場マイクロ水力発電所において発電を実施し、電力会社に対して売電することで収入を確保している。 売電収入額 3,465千円
(4) 公営企業等の健全 経営の推進	病院事業の経営健全化 (継続)	【砺波総合病院】 市立砺波総合病院新改革プランに基づき、良質な医療の提供に努め健全経営に取り組む。 また、病院経営に知見を有する外部委員で構成する「経営改善委員会」を令和元年11月6日に開催し、病院の経営改善に関する事項等について点検及び評価を行う。